



「ブラジル人学校における学校健診」

済生会では「なでしこプラン」としてさまざまな事情で医療・福祉サービスを受けられない人たちを対象に健康相談等を行っています。

ブラジル人学校は「学校保健安全法」の適用にならず、学校健診は義務付けられておらず、子どもたちが健診を受ける機会がありません。今年度も、例年のように平成28年3月2日に岐阜県美濃加茂市にあるイザキ・ニュートンカレッジで学校健診を行いました。当院からは医師2名・看護師2名・事務員1名の合計5名が参加しました。

健診開始前に3歳の小さな幼児から高校3年生の子ども達と一緒に集まり、当院スタッフの自己紹介を行いとても和やかな雰囲気となり、立派な花束をいただきました。

健診の対象者の子ども達、約150名と先生7名で事前に行った問診票と身長・体重・肥満度・血液・尿・視力・聴力検査の結果と医師の内科健診後に総合評価を行いました。

今回の健診でも、視力低下、貧血、肥満の児童があり、医師からは「食生活等で栄養管理を意識する事が大切、将来的には生活習慣病になりやすいので、保護者の方にも健康意識をもってもらえるとよい」との話があり、学校関係者の方も真剣な表情で聞かれていました。異常を認められた者には診療情報提供書を作成して病院受診を勧めました。

学校関係者より「今年も本当にありがとうございます。子ども達や保護者も学校健診を通じて徐々に健康に意識をもつようになったと思います。来年度以降もぜひ継続していただきたい」と言っていただきました。

今後も関係各所と連携をとりながら、みなさんに健康な生活を送っていただけるような事業に取り組んでいきたいと考えています。

医療福祉・地域連携室 主事 片岡 直孝

▼診察前の挨拶



▼診察風景 1



▼診察風景 2



▼子ども達と記念撮影 1



▼子ども達と記念撮影 2

